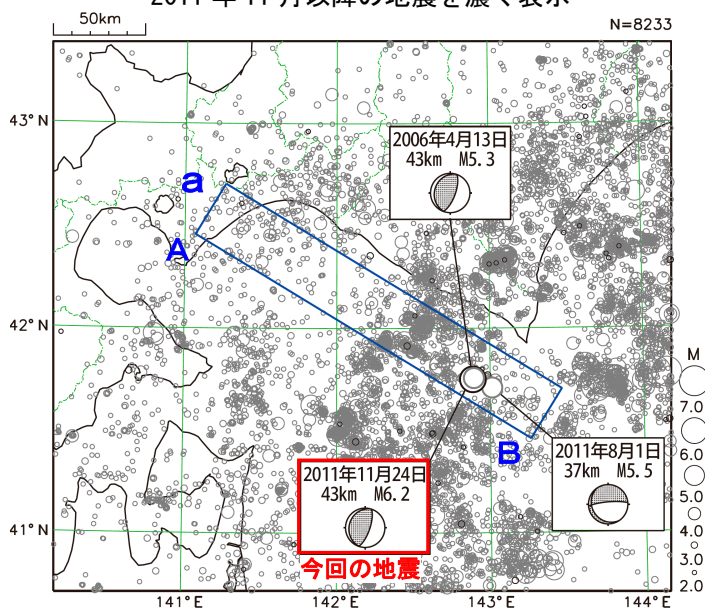
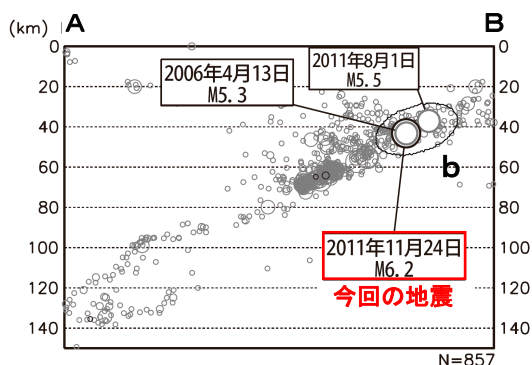


# 11月24日 浦河沖の地震

震央分布図(2001年10月1日~2011年11月30日、  
深さ0~150km、M $\geq$ 2.0)  
2011年11月以降の地震を濃く表示

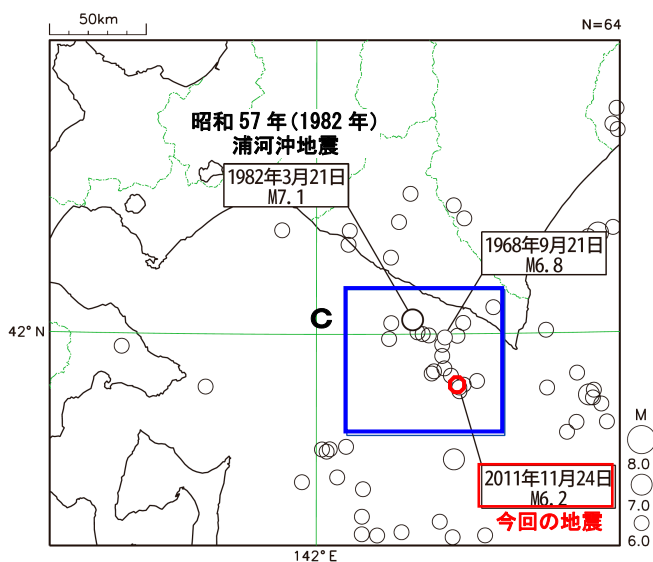


領域a内の断面図 (A-B投影)



震央分布図

(1923年8月1日~2011年11月30日、  
深さ0~150km、M $\geq$ 6.0)

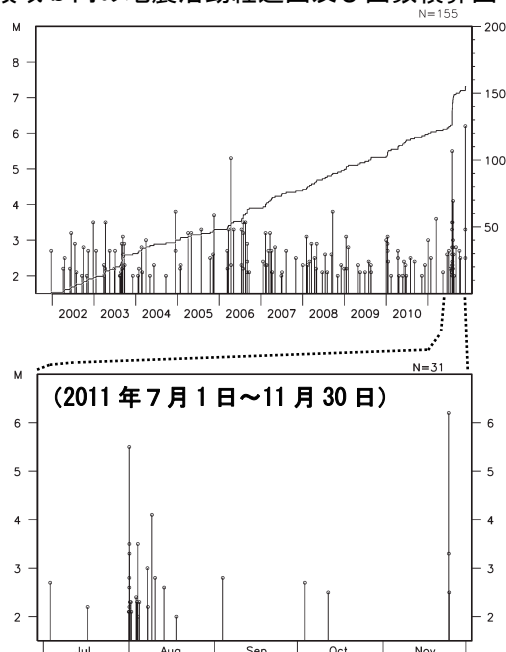


2011年11月24日19時25分に浦河沖の深さ43kmでM6.2の地震(最大震度5弱)が発生した。この地震の発震機構は、西北西-東南東方向に圧力軸を持つ逆断層型であり、太平洋プレートと陸のプレートの境界で発生した地震である。

この地震の震源から約10km南東の深さ37kmでは、8月1日にもM5.5の地震(最大震度4)が発生している。

2001年10月以降の活動を見ると、今回の地震の震源とほぼ同じ場所で、2006年4月13日にM5.3の地震(最大震度4)が発生しているが、その後は2011年8月までM5.0以上の地震は発生していなかった。

領域b内の地震活動経過図及び回数積算図



1923年8月以降の活動のうち、今回の地震の震央付近(領域c)で発生した「昭和57年(1982年)浦河沖地震」(M7.1、最大震度6)では、負傷者167人、建物全半壊25棟の被害が生じたほか(「最新版 日本被害地震総覧」による)、北海道から東北地方の太平洋岸で津波を観測した(津波の最大の高さ: 浦河78cm(検潮記録))。

領域c内の地震活動経過図

